

事故報告書

フルーツ・シャトーよいち

施設長	副施設長	援助課長	医務課長	相談員	係長	担当

フリガナ	●●●●●●●●	男 女	要介護 2	移動	<input checked="" type="checkbox"/> 独歩 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 杖歩行 <input type="checkbox"/> 車椅子					
本人氏名	●●●●●● 様	93 歳			<input type="checkbox"/> その他 ()					
報告者	●●●●●●			発生(発見)日時	平成28年07月30日(土) 17:10 分頃					
場所	<input type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> ホール <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 拠点フロア <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 送迎車内 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (職員玄関)									
状況	<input type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 転落 <input type="checkbox"/> 誤食 <input type="checkbox"/> 誤嚥 <input type="checkbox"/> 誤薬 <input type="checkbox"/> トラブル <input checked="" type="checkbox"/> 単独外出 <input type="checkbox"/> 介護中 <input type="checkbox"/> 不明 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (職員玄関) 職員玄関から出て、2mほど進んだところに居るのを退勤職員が発見し、一緒にユニットまで戻る。 本人「特に何をしようとしたわけではない」と話されている。 夜勤職員が引き継ぎに向かい、拠点に残る職員が一人になりナースコール対応をしている時を見計らい職員玄関に向かい、サムターンキーをご自分で開けて外に出たと思われる。夜勤職員が引き継ぎから戻ってきたと同時に、退勤職員とともに戻って来られ、残り職員はコール対応中であつた為、不在に気が付くことができない状況であつた。転倒の痕跡など無し。 8月4日、上記内容を施設内から外に出ているのを見かけた職員から問い合わせがあり発覚。拠点まで案内した職員から情報もらい、本人からも話を伺う。当日発見職員との情報受け渡しに不備あり、発覚が遅れた。 〈施設内報告〉 8月4日 17:00 施設長・副施設長へ●●●援助係長より状況報告。 ●●●援助課長へ●●●援助係長より状況報告。									
症状	<input checked="" type="checkbox"/> 無傷 <input type="checkbox"/> 表皮剥離 <input type="checkbox"/> 擦過 <input type="checkbox"/> 切傷 <input type="checkbox"/> 内出血 <input type="checkbox"/> 火傷 <input type="checkbox"/> 腫れ <input type="checkbox"/> 変色 <input type="checkbox"/> 熱感 <input type="checkbox"/> その他 ()				部位					
対応	<input checked="" type="checkbox"/> 様子観察 <input type="checkbox"/> 湿布 <input type="checkbox"/> 冷却 <input type="checkbox"/> 吐かせる <input type="checkbox"/> 吸引 <input type="checkbox"/> 止血 <input type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> その他 ()									
バイタルサイン	体温	℃	血圧	/	mmHg	脈拍	回/分	SP02	%	計測時間
要因・原因	<input type="checkbox"/> 見守り不足 <input type="checkbox"/> 知識・技術不足 <input type="checkbox"/> ルール不遵守 <input type="checkbox"/> 情報不足 <input type="checkbox"/> 環境・設備 <input type="checkbox"/> 設備・点検不足 <input type="checkbox"/> 人為的問題 <input checked="" type="checkbox"/> その他 () ・一人で外に出るはいけないという事は、理解されている。 ・本人、職員に見つかると思われ、職員の様子を見計らい、拠点から出て行こうとすること事が多い。 ・本人としては自分が行きたいときに掛けれられないことで息苦しさを感しているものと思われる。「出掛ける」事よりも、「自由に」出歩くことが本人にとって重要であると考えられる。									
事故防止対策	・自由に歩くことを可能な限り叶えられる様に以下対応をとる。 ・職員に「出掛ける」と伝えさえすれば問題ないという事を本人に伝えていく。 (例えば外出カードのようなものを本人に持たせていただき、職員に渡してから出掛けてもらう等) ・「どうせ止められる」と思われないように、どこに行くのか伺い、後で合流するようにする。 ※どうしても待っていただかなくてはならない場合はあるが、待っていただく場合には具体的に時間を伝える。 ・所在確認は継続して行うこと。 ・コール対応中に拠点から出たことに気が付けるよう、ユニット入口・居室入口に鈴など音の鳴るものを付けて開けた時に分かるようにする。									
家族への説明	加ファリスの必要性について		<input type="checkbox"/> 不要 <input checked="" type="checkbox"/> 必要							
	平成28年08月04日(木)		説明方法		<input type="checkbox"/> 面会 <input checked="" type="checkbox"/> 電話		説明職員		●●●援助係長	
	家族氏名		●●●●●● 様		続柄		次男			
電話にて単独外出の状況お伝えする。「わかりました。どこか連れて行ってあげてください」とお話しください。										